きょさと

組合だより

JA 清里町

No.365

ＪＡ清里町第28期の役員が就任致しました

後列左から　寺島監事　伊藤理事　新輪理事　佐藤（弘）理事　橘理事　南出理事　中平理事
前列左から　笹渕常勤監事　市橋代表監事　石井組合長　三上専務　工藤第一理事　白戸参事

もくじ

就任のご挨拶　参事　白戸　豪将 …… 2
就任のご挨拶　常勤監事　笹渕　俊幸 …… 2
退任のご挨拶　前参事　村上　静男 …… 3
第73回通常総会開催 …… 4
第28期役員体制決定 …… 5
清里町農民連盟第50回定期総会開催 …… 6
農業フォトギャラリー …… 7
各組織等総会報告
ごぼう生産組合総会 …… 8
わさび生産組合総会 …… 8
和牛生産改良組合総会 …… 8
清里町農地・水保全広域協定運営委員会 …… 8
果樹生産振興会総会 …… 9
長いも生産組合総会 …… 9
酪農３組織総会 …… 9
大豆組合総会 …… 10
スイートコーン生産組合総会 …… 10
GPS講習会開催 …… 10
春の園芸セール開催 …… 10
令和３年度新規就農者激励状贈呈式 …… 11
第８期ＪＡきよさと農業塾修了式 …… 12
第10期ＪＡきよさと農業塾入校式 …… 12
きよさと農業塾９期生学習会 …… 13
世代交代報奨慰労会 …… 13
コンバイン格納庫新築工事起工式 …… 13
第１回秋まき小麦青空教室 …… 13
理事会経過をお知らせ致します …… 14
人事異動発令 …… 14
組合員状況 …… 15
新規採用職員をご紹介します …… 15
退職にあたって …… 16
清里町農業後継者育成基金について …… 17
篤志による寄贈 …… 17
ＪＡグループ通信 …… 18
関係機関職員紹介 …… 19

2021年
5
令和３年

就任のご挨拶

参事　白戸　豪将

組合員の皆様におかれましては、春耕期を迎えられ何かとご多忙の日々をお過ごしのことと存じます。

さて、私こと3月5日開催の第3回理事会におきまして、村上前参事の後任として参事に選任され、4月1日付で就任致しました。参事という職務の重大さを痛感し、身の引き締まる思いで心を新たにしております。経験も知識もまだまだ不十分で未熟者ではございますが、微力ながら職責を果たすべく努力をして参る所存でございますので皆様のご指導・ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

昨年来、新型コロナウイルスの感染拡大が続き、世界的にもなかなか収束が見えず、国内ではようやくワクチン接種が始まりましたが、東京オリンピック・パラリンピック開催可否の判断、またその開催規模による経済への影響など、国内においては色々な不安要素が長引くことが予想されます。

更にコロナ禍に加え、今日の農業を取り巻く情勢はTPP11、日EU・EPA交渉等により国際貿易の自由化が厳しさを増しており、農畜産物価格の低迷、食料自給率の低下、外国人旅行客の激減による消費の落ち込みなど、清里町の主要農畜産物である「砂糖」、「でん粉」、「小麦」、「小豆」、「乳製品」などの荷動きが鈍化し、それに伴う過剰在庫により非常に厳しい販売環境が続いております。全農、ホクレン等を含めJAグループでは各実需者に対して輸入品から国産への切り替えをお願いし、国産過剰在庫の解消を進めていますが、需要の低迷によりスムーズな取り組みとはなっていない状況にあります。

このような中、農協事業運営においては組合員各位のご理解とご協力により計画に沿った中での事業推進をさせていただいておりますが、今後の新型コロナウイルスの状況、昨今の異常気象変動、国際的な貿易交渉の動向などによっては、農業・農協を取り巻く環境は更に厳しいものとなることが予想されることから、組合員・役職員が一体となって強固な結びつきの中で事業を展開していくことが重要となってきます。組合員各位からの色々なご意見をいただきながら相互扶助の精神で事業を進めて参りたいと考えておりますので、今後とも旧に倍するご理解とご協力をお願い申し上げます。

最後になりますが、組合員ご家族皆様のご健勝と無事故で豊穣の秋を迎えられますことをご祈念申し上げ、就任の挨拶と致します。

就任のご挨拶

常勤監事　笹渕　俊幸

今年は例年になく雪が少なく、雪解けも早く、組合員の皆様には、春耕期を迎え、蒔きつけ作業などに大変お忙しいことと存じます。

さて、去る4月9日の第73回通常総会において監事に選任され、その後の監事会で常勤監事を仰せつかりました。清里町農協では初めて常勤監事の職責を担うこととなり、改めてその重責を担うことに身が引き締まる思いであります。これまでの経験を活かして清里町農協のために尽力して参りたいと思っておりますので宜しくお願い致します。

平成30年3月に退職後、少しでもお役に立てるのであればと内部監査員として業務のリスク軽減及び改善・効率化等の助言を行ってきました。今後は監事として公正不偏の立場を保持し、理事の職務執行状況を監査することにより、組合の健全性を確保し、組合員の皆様ならびに地域社会の信頼に応えるよう努めて参ります。

規制改革会議等による農協改革によって、農協法の一部改正（平成28年4月施行）がなされ、信用事業を行う貯金量200億円以上のJAは、平成31年度以降公認会計士による監査を受けることが義務付けられました。JA全国監査機構による会計監査・業務監査から公認会計士による会計監査に移行されました。JA監査の大きな転換期にあたり、監事の責務が増す中、監査品質向上のための自己研鑽に努め、会計監査人監査の移行に向け尽力して参ります。

結びとなりますが、本年の豊穣の出来秋を迎えられますこと組合員・ご家族の皆様のご健勝をご祈念申し上げ、就任のご挨拶と致します。

退任のご挨拶

前参事　村　上　静　男

陽春の候、組合員の皆様には春耕起を迎え、大変お忙しい毎日をお過ごしのことと推察申し上げます。

さて私こと、3月31日を持ちまして職員を退職し、4月9日の通常総会で兼務職の理事も退任させていただきました。昭和53年に高校を卒業し、社会のことは右も左も分からない中で、清里町農業協同組合に就職をさせていただきました。当時は現在のJAの愛称もなく、農協の「の」を丸に見立て、稲もしくは麦穂を組み合わせたマークを使っていた時代でした。農協事務所の構えも当時としては近代的な事務所だったのかもしれませんが、赤レンガ基調の壁模様でしたが少々古臭い感じで、事務所横には高くそびえたっていた煙突がとても印象に残っていることを思い出します。

当時は農家組合員戸数も沢山おり、私が入組したときは314戸の組合員戸数でしたが、平成15年に中央農協と合併して27戸増えたものの現在は203戸と111戸が減少致しました。もうこれ以上減少しないようにしたいものです。

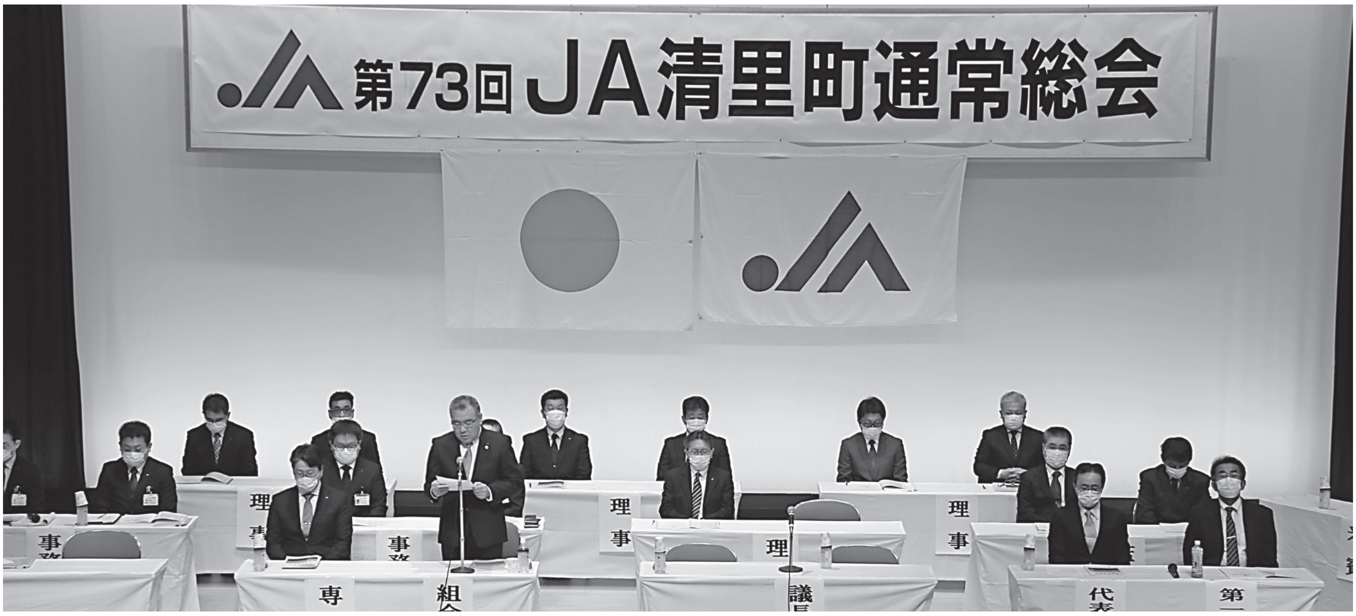
顧みますと、私の農協の歴史は、入組後は業務部門を中心に資材課、店舗課に約13年間の配属、その間の8年間の店舗時代は、色々な場面で苦労も多かったのですがとても楽しく充実した毎日を過ごした記憶が蘇ってきます。店舗時代に培った対人とのコミュニケーションやお客様対応が今の私を作り上げた原点の一つでもあると考えております。その後は、管理課、金融課と約14年間の配属、ここでの管理課勤務は農協全体を見ることが出来、法人税の申告、農協経営総合分析作業、金融課では農協における資金繰りの流れなどの実務経験をさせていただき、大変勉強をさせていただきました。そして再度業務部門に戻り、9年間は麦作業務を中心に頑張ってきたことを思い出します。特に麦作工場操業に関しての色々な苦労話は、私の人生の中においても中々一言では言い表せられない感慨深いものがあります。特に麦作が専門だったOB職員からの助言は、麦作工場を勉強するには、まずは「麦畑に足を運び麦の顔色を見てこい」と言われ、麦のほ場を朝早くから巡回しましたが、最初はただ見て回っただけという感じで、何が良いのか悪いのかが分からずじまい、麦を担当しての最初の約3年間は、麦ほ場を出勤前の早朝時間帯の3時間程度を利用して約1週間かけ、すべての麦ほ場の巡回をしたそんな日々を過ごしながらの毎日だったのを思い出します。

その後は、営農部門関係が全く経験のない中での営農部長を命ぜられたときは、本当に自分に営農部門が務まるのだろうかと不安でいっぱいの日々を過ごしたことを思い出します。そして、最後は参事までも務めさせていただきました。これも偏に先輩諸氏および私とともに仕事をしてきた仲間や現在の同僚のご協力やご支援があってこそ、大過なく務めてこられたと感じております。思い出は本当に走馬灯のように思い出されます。話が尽きません。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。そして、43年間の農協職員に終止符を打ちました。本当に永い間お世話になり、ありがとうございました。

最近の農業をめぐる情勢は、相変わらずの大型自由貿易協定の発効が止まらず、農業を犠牲にした新自由主義農政が続いています。今後においてもこの新自由主義に基づく農政からの転換や生産現場の視点に立った農政の確立、そして現在のコロナ禍の収束と落ち込んだ農畜産物需要の喚起と回復対策を強く求めていかなければなりません。

当JAは、昨年から第10期総合5ヶ年計画を取り組んでおります。変化の激しい農業情勢に対応し、多くの課題と向き合い「持続可能な清里町農業の確立」を目指し、地域の未来と合わせて豊かな魅力ある農村を確立出来る様、頑張っていただきたいと思います。組合員・役職員そして若い担い手が中心となって、相互扶助の精神をもって一丸となって取り組めば、必ずやこの難局も乗り越えられるものと確信しております。

最後になりますが、43年間の間、笑顔で気働きが出来る職員を目指し農協に勤めさせていただきました。最後まで全う出来ましたこと、本当にうれしく思っております。そして、組合員、役職員の皆様のご健勝とご多幸、清里町農業の益々のご発展をご祈念申し上げ退職の挨拶とさせていただきます。長い間お世話になりありがとうございました。こころから感謝とお礼を申し上げます。



—第73回通常総会開催—

農作業の安全と豊穣の出来秋を祈る

４月９日、第73回総会が午前９時に臼戸参事の開会宣言により開会、出席者全員のＪＡ綱領朗唱にて開催されました。

石井組合長から冒頭「令和２年度は、主要３作物はほぼ平年並みとなったが、一昨年の最高反収を記録した小麦とのギャップが大きく、数量払いを含む収入金額が６億円近く下がり、組勘収支での小麦の重要性を強く感じた年となった。野菜類・小豆においてもコロナ禍による業務用を主とした需要が落ち込み、低調な販売単価で推移したため残念な年となった。酪農畜産については、安定した生乳生産と個体販売価格の堅調な推移により、畜産物全体での販売金額が伸びている。

昨年10月にＪＲ列車とスラリーローリー車が接触事故を起こし、組合員各位・関係機関の皆様には多大なご心配とご迷惑をお掛けしたこと、誠に申し訳なく思っている。亡くなられた運転手の方のご冥福を心よりお祈り致し、今後このような痛ましい事故を発生させぬよう、農協事業全般を通じ問題点・危険箇所の洗い出し、及び改善に取り組み、安全作業・安全運転に向けた意識向上に努めて参りたい。

本年度においては、新型コロナウイルスの感染拡大が続き、国内においてはワクチンの接種が開始される等経済回復に向けて取り組んでいるが、不安要素も多く不透明な経済状態が長引くことが心配される。緊急事態宣言で行動制限が続き、外食・観光産業が低迷、特に業務用での乳製品類、農産物等の在庫が積み上がってきており、今後も感染状況によっては、農畜産物の消費低迷が長期に及ぶことが心配される。組合員各位のご協力をいただきながら消費拡大運動を進めているが、国・政府にも海外産から国産へと優先的に切り替えを行なっていただき、在庫解消に向けた政策を進めることを望んでいる。世界的なコロナ禍が続く中、経済成長も鈍化し、その影響を受け、各種農業生産資材の値上りが進み、農業経営への影響が心配される。アジアを中心とした経済連携協定ＲＣＥＰ、中国・韓国・英国等が加入を検討しているＴＰＰ協定の貿易交渉も気がかりで、国内においても准組合員制度、生乳指定団体など色々と意見をぶつけて来ている規制改革推進会議の今後の動向が心配される。それに対し農協は、組合員皆様の力を系統に結集し、その力を中央会・ホクレンなどの各連合会に集め、ＪＡグループ全体で働きかけて行くことが重要と考えている。

４集団岩崎氏（右）と８集団塚田氏（左）が議長に選任

本年は役員改選期となる。本年度中には貯金残高200億円を超える見込みで、改選期に合わせ常勤監事の登用を考えている。200億円を超えると常勤監事の設置は必須となり、会計監査人監査も必要となるので、その対応も含めて進めていく。

近年農作業事故が増加傾向となっている。ご家族とともに農作業を安全に進め、事故のない中で豊穣の出来秋を迎えられることと、組合員ならびにご家族の皆様がご健勝でご活躍されることをご祈念申し上げる。」と挨拶がありました。

引き続き櫛引町長、田中町議長、ホクレン北見支所谷支所長よりご挨拶をいただき議事に入りました。

議長は、第4営農集団岩崎誠氏、第8営農集団塚田勉氏が選任され、議案審議に入りました。

議長団のスムーズな進行により全議案が可決され、岩崎氏の退任挨拶の後、三上専務の閉会の挨拶で11時44分に無事終了しました。

◆質問・意見は次のとおりです

（内容は要約しています）

◎株式会社の株式取得について、様々な意見質問が懇談会で出ていたと思うが、理解を得たとなっていることに疑問。また、賛成反対の数字を提示してほしい。

第28期役員体制決定

第73回通常総会にて役員が選任され、4月9日開催の第5回理事会ならびに第4回監事会において第28期役員体制が決定されました。

令和3年4月9日以降の理事の役割分担は次の通りとなっております。

今後とも、新役員体制のもと清里町農業の発展のため、役職員一丸となって全力を尽くす所存であります。組合員の皆様の一層のご指導とご支援ご協力をお願い申し上げます。

区分	氏名	石井 透	三上博由	工藤一仁	中平哲也	佐藤弘康	伊藤洋喜	橘 裕城	新輪勝信	南出 修	白戸豪将
役割分担	代表理事組合長	○									
	専務理事（信用担当）		○								
	第一理事			○							
	使用人兼務理事										○
	農家経済担当理事			○		○			○	○	
	管理・金融委員会				○	○	○	○			
	業務委員会					○	○		○	○	
	営農委員会			○	○			○	○		

※代表監事　市橋安秀　　次席監事（員外）　寺島和男　　常勤監事　笹渕俊幸

清里町農民連盟 第50回定期総会開催

4月12日（月）、第50回清里町農民連盟定期総会が、午後1時30分より、清里町農協二階会議室において開催されました。新型コロナウイルス対策のため、参加人数を減らし、開催時間を短く、換気を行い、入口での検温・アルコール消毒、アクリル板の設置等の感染防止対策をとりながらの開催となりました。総会は、例年より少ない代議員総数40名中出席者38名（委任状2名）が出席し、久保宗央組織対策専門副委員長の開会宣言によって総会は始まりました。

二俣清史委員長は開会にあたり、「長年運動してきた防風林対策が、モデル事業として今年3月から始動することが出来た。今後とも町、農協の協力をお願いし進めていきたい。新型コロナウイルスの影響で農民連盟の活動も思うような動きが取れず制限された1年であった。影響は様々な分野に出ており、国民生活は大変厳しい状況にある。農業分野でも急激な需要減による深刻な影響が出ている。そのような状況の中、次々と発効されている国際貿易協定の影響も注視していかなくてはならない。国内に目を向けると、農協改革、種苗法改正、企業の農地取得特例など、農業を取り巻く情勢は大変厳しくなる可能性がある。私たちは農業を守るため引き続き運動を展開していかなくてはならない。

今年度は、組織結成75周年・農民連盟改称50周年の記念の年となる。総会議案の裏と連盟事務所入口に掲げている写真は、昭和21年上京運動の写真です。今農業が発展しこのように過ごせるのも先人の粘り強い運動のお陰と感じています。先人の気持ちを忘れぬよう、また恥じぬよう運動を進めていくので、皆様のご協力をお願いしたい」と挨拶しました。

議長には、3集団の浮須伸尚氏が選任され、議事録署名委員に、6集団の大岸直裕氏と10集団の長谷川仁氏が、書記には清里町農協経営課の河合主査が任命されました。

来賓祝辞として、櫛引政明清里町長、清里町農協石井透組合長、北見地区農民連盟増田俊司委員長よりいただきました。

また、清里町農業委員会森本宏会長、清里町農協女性部浅井あゆ美部長、清里町農協青年部谷本和樹部長、北見地区農民連盟岡田恭也書記のご出席をいただきました。武部新議員、徳永エリ議員、ホクレン中斜里製糖工場前本政道工場長からのメッセージを事務局より紹介しました。

続いて、定期総会スローガンを

大槻仁志農畜産対策副委員長により確認の後、議事に入りました。

第１号議案「令和２年度活動経過報告」について、町内対策では、国有林対策として関係機関と協議を重ねいよいよモデル事業がはじまったこと、効果的な鳥獣被害対策の要請を続けていること、Ｇｐ対策、麦作事業、馬鈴薯・てん菜対策、広報活動など。また新型コロナの影響で行動が制限される中、需要喚起対策、次期作支援交付金や経営継続補助金の要請の他、酪農畜産・畑作・税対策などの１年間の運動経過を各専門委員長及び局長より報告し、拍手により承認されました。続いて、第２号議案「令和２年度会計収支決算報告」坂野和弘書記長より説明。引き続き岩本将嘉監事より「決算監査報告」があり、それぞれ拍手により承認されました。

第３号議案「令和３年度運動方針（案）」では、今年度農民組織結成75周年・清里町農民連盟改称50周年という節目を迎えるにあたり運動の経過をまとめた記念誌を発行すること、町内対策を充実させ、地元の要望を伝えるため移動執行委員会を開催し、更に北見地区・道農連を通じた国際貿易交渉対策、真の農政改革の実現、生産現場の視点に立った農政運動を行っていくことを各専門委員長及び局長より提案し、拍手により承認されました。第４号議案「令和３年度収支予算（案）」及び、「賦課金徴収（案）」では、昨年度新型コロナの影響で事業が行えなかった分、周年事業積立金の目標額まで積立て終わったので特別負担金は徴収しないこと、また、前年に比べ賦課金を減額することなど提案し、拍手により承認されました。

その後「農畜産物の更なる市場開放に断固反対し持続可能な農業・農村政策の確立を求める特別決議（案）」を園木副委員長より提案され、拍手により承認されました。

浮須議長の退任挨拶ののち、閉会に当たり桑島副委員長より挨拶があり、午後３時45分、久保宗央組織対策専門副委員長の閉会宣言をもって終了しました。

■お知らせ■

◎組合員の皆様におかれましては、農作業等に追われ気持ちが焦ると、労務災害の件数が多くなります。安全確認・安全作業で、くれぐれも労災事故に遭わないようご注意していただきたいと存じます。

万一、農作業において、労災事故でケガをされた方は、ケガの大小にかかわらず、速やかに（出来るだけその当日）病院で治療を受けてください。その後、農民連盟事務所まで来ていただき、事故状況等の聞き取りをした後、書類を作成し手続をします。

◎労災保険に関して、事業主および、その家族の方で、就職・卒業・結婚・Ｕターン・死亡等の理由により、保険に新たに加入・脱退の変更が必要な場合は、できるだけ速やかに連盟事務所までご連絡下さい。手続きが遅れますと、労災の適用を受けることができません。

◎ご相談、ご意見、ご希望、ご不満、不明な点などがありましたら、各集団内の執行委員に相談していただければ幸いです。　事務局

～農業フォトギャラリー～

１集団成戸道尚氏　馬鈴しょ植付

７集団佐々木謙一氏　ビート植付

各組織等 総会報告

★ごぼう生産組合総会

3月17日、第32回清里町ごぼう生産組合定期総会が、JA清里町2階会議室にて開催されました。

田邊組合長が議長となり、議案審議に入りました。議案第1号『令和2年度事業報告及び収支決算報告について』議案第2号『令和3年度事業計画案並びに収支予算案について』議案第3号『役員改選について』議案第4号『その他』においては、近隣JAの牛蒡栽培取組試験についての説明がなされました。質疑応答は特になく、総会は終了しました。

◆令和3年度役員

・組合長　（農）田邊生産組合 田邊　朋之氏
・副組合長　塚田　勉氏

★わさび生産組合総会

3月22日、第33回わさび生産組合定期総会兼全体会議が開催されました。

議案第1号『令和2年度事業報告及び収支決算報告並びに会計監査報告について』議案第2号『令和3年度事業計画（案）並びに収支予算（案）について』議案第3号『役員改選について』議案第4号『その他』として金印アグリ㈱に対しての要望・質問等が行われました。

また、併せて斜網地区農協わさび耕作組合協議会定期総会の報告もなされ、総会は終了しました。

◆令和3年度役員

・組合長　山崎　一幸氏
・副組合長　坂野　和弘氏

★和牛生産改良組合総会

4月7日、第9回和牛生産改良組合定期総会が開催されました。

議案第1号『令和2年度経過報告並びに収支決算書について』議案第2号『規約変更について』議案第3号『令和3年度事業計画（案）並びに収支予算（案）について』議案第4号『令和3年度会費の徴収方法について』議案第5号『役員改選について』議案第6号『その他』では平準化事業について等の審議が行われました。全ての議案が可決され、総会は終了しました。

◆令和3年度役員

・組合長　橋本　秀一氏
・副組合長　佐野　吉延氏

★清里町農地・水保全広域協定運営委員会

4月12日、第6回清里町農地・水保全広域協定運営委員会定期総会が開催されました。

議案第1号『令和2年度事業実績及び収支決算報告に並びに監査報告について』議案第2号『令和3年度事業計画及び収支予算について』議案第3号『令和3年度運営委員会日当、作業等借上げ料金表について』議案第4号『清里町農地・水保全広域協定運営委員会参加同意書の承認について』議案第5号『役員の選任について』議案第6号『清里町農地・水保全広域協定書の一部変更』議案第7号『その他』については交付金について協議されました。

全ての議案が可決され、総会は終了しました。

◆令和3年度役員

・会長　三上　博由氏
・副会長　塚田　勉氏

★果樹生産振興会総会

4月15日、第32回果樹生産振興会総会が開催されました。議案第1号『令和2年度事業報告並びに収支決算報告および監査報告』議案第2号『令和3年度事業計画並びに収支予算案』議案第3号『役員改選』について議案審議がなされました。各議案とも、賛成多数により可決となり総会は終了しました。

◆令和3年度役員

・会　長　佐藤　昇氏
・副会長　野崎　初雄氏

★長いも生産組合総会

3月19日、第34期長いも生産組合の総会が開催され、生産者16名（内委任状3名）が出席し、議案審議が行われました。

議案第1号『令和2年度事業報告並びに収支決算報告について』議案第2号『規約の変更について』議案第3号『令和3年度事業計画案並びに収支予算案について』議案第4号『役員改選について』が提案され、議案第5号『その他』では、令和2年産の品質について説明され、質疑では種子の系統選抜についての提案等が挙げられました。

◆令和3年度役員

・組合長　橋　淳史氏
・副組合長　鈴木　祥弘氏

★酪農3組織総会

4月22日、酪農組合、乳牛検定組合、酪農ヘルパー利用組合の合同定期総会が開催されました。

●酪農組合

議案第1号『令和2年度経過報告並びに収支決算報告について』議案第2号『規約の変更について』議案第3号『令和3年度事業計画（案）並びに収支予算（案）について』議案第4号『令和3年度賦課金の賦課並びに徴収について』議案第5号『役員改選について』が提案され、全ての議案が賛成多数により可決されました。

●乳牛検定組合

議案第1号『令和2年度事業報告書、収支決算書並びに貸借対照表、借受勘定及び監事の意見書について』議案第2号『令和3年度事業計画（案）並びに収支予算（案）について』議案第3号『組合員負担金の負担基準と徴収方法について』が提案され、全ての議案が賛成多数により可決されました。

●酪農ヘルパー利用組合

議案第1号『令和2年度事業報告書並びに収支決算書及び会計監査報告について』議案第2号『令和3年度事業計画（案）並びに収支予算（案）について』議案第3号『年会費の徴収について』議案第4号『特別賦課金徴収について』議案第5号『その他』において報告事項として専任ヘルパーの待遇改善について等が提案され、全ての議案が賛成多数により可決されました。

◆令和3年度役員

・酪農組合　組合長　佐藤　繁雄氏
・乳牛検定組合　組合長　岡崎　英之氏
・酪農ヘルパー利用組合 組合長 前中　康男氏

★大豆組合総会

３月26日、第５回大豆生産組合総会がＪＡ清里町２階会議室で開催されました。

議案第１号『規約改正について』議案第２号『令和２年度事業報告並びに収支決算について』議案第３号『令和３年度事業計画（案）について』議案第４号『役員改選について』が提案されました。全議案について賛成多数により可決となり、総会は終了しました。

◆令和３年度役員

・組 合 長　吉田　勝典氏
・副組合長　高見　則之氏

★スイートコーン生産組合

３月29日、スイートコーン生産組合第33回定期総会が開催されました。

議案第１号『令和２年度経過報告並びに収支決算報告について・会計監査報告』議案第２号『規約の改正について』議案第３号『令和３年度事業計画（案）並びに収支予算（案）について』が提案されました。全議案について、賛成多数により可決となりました。

◆令和３年度役員

・組 合 長　我妻　健一氏
・副組合長　高見　則之氏

GPS講習会開催

GPS講習会開催

３月29～31日に㈱ニコン・トリンブル、４月６～８日に㈱トプコンより講師を招き、ＧＰＳ講習会が開催されました。講習会はそれぞれ３日間の日程で行われ、両講習とも初日と２日目に座学、３日目は実地を行いました。

座学は初級・中級・上級にレベル分けして開催し、初級は基本的な設定の方法やラインの引き方、中級は初級の応用と境界線の設定、上級はＩＳＯＢＵＳ（国際規格）との連動についての説明や質疑応答が行われました。実地では、実際にほ場に入り、外周やＡＢラインの作成が行われ、講習会は終了しました。

今回の講習会は後継者の参加も多く見られたので、今後有効活用していただける講習会となりました。

春の園芸セール開催

春耕起に必要な資材を皆様へ

４月21～22日の２日間にわたってＪＡ清里町資材センターにおいて春の園芸セールが開催されました。

今回のセールでは肥料や農薬の他、小農具や衣料品など幅広く展開して行われ、多くのお客様にご来店いただきました。

資材センターのセールは年２回の開催を予定しており、次回は秋に行われる予定です。

今年度も地域に根差した店舗づくりに努めて参りますので、皆様のご来店を心よりお待ちしております。

令和３年度新規就農者激励状贈呈式

～６人の若き後継者へエールを～

４月６日、新規就農者に対し、ＪＡグループ北海道の系統４連と全国共済連北海道本部より激励状が授与されました。

石井組合長より「６人の若き後継者を迎えられることを大変喜ばしく、多くの期待をしている。昨今、農業の技術的な部分が進歩する中、清里町では現在４００台以上のトラクターが自動操舵システムを搭載して運行している。農協のコンバインも今年度から全台自動操舵システムを搭載した中での刈り取りが進められる。そういった最先端技術を取り入れつつ、長年培った栽培法を両親から学び、清里町農業を担う農業者として営農していくことに期待致したい。」と激励の言葉がありました。

新規就農者を代表した垂石航さんの答辞では激励状、記念品贈呈に対する感謝の言葉と、「今後は知識と技術を研鑽し、一日でも早く地域にとけ込み、清里町農業の発展に寄与できるよう一生懸命頑張りたい。」との抱負が述べられました。

■第8期JAきよさと農業塾修了式■

第8期塾生　2名に修了証書授与

3月29日、JA清里町小会議室において、きよさと農業塾第8期生の修了式が執り行われました。

JA清里町石井組合長より「2年間の農業塾を通じて得た知識を活用され、今後農業者として清里農業を背負っていってもらいたい。農業は多方面の知識が必要となる職業、今後も学習や研修等に積極的に参加してもらいたい。」と激励の言葉が贈られました。

また、来賓の網走農業改良普及センター清里支所池田支所長から、2年間の学習に対しての敬意と、激励の言葉が贈られました。

その後、8期生2名に修了証書と営農日誌が贈呈され、最後に、8期生を代表して、伊藤隆広さんからの答辞では、この2年間ご指導いただいたお礼と、これからの農業人として決意が述べられました。

▼第8期生

第1営農集団　澤田　琢摩さん
第3営農集団　伊藤　隆広さん

■第10期JAきよさと農業塾入校式■

4名入校、色々な知見を広げて

4月20日、緑清荘にて農業塾入校式が第10期生4名の参加のもと行われました。

石井組合長からは、「清里町を含め斜網地区は畑作3品が主力となるが、豆類その他作物が増えることに知識や経験が必要となることから、今後2年間は農業塾を通じて色々な知見を広げてもらいたい。さらには研修の中で仲間づくりや他の地域の方との交流が重要となってくる。将来的には清里町農業を背負い、けん引してくれる農業者になってもらうことを期待したい。」と激励の挨拶がありました。

続いて網走農業改良普及センター清里支所池田支所長から「皆様は今後、地域の青年農業者として清里町の農業を背負っていく大切な人材であり、普及センターとして今後も支援して参りたい。」と来賓としてのご挨拶をいただきました。

▼第10期生

第2営農集団　二俣　統哉さん
第6営農集団　近藤　颯さん
第8営農集団　渡辺　将矢さん
第9営農集団　垂石　航さん

★きよさと農業塾9期生学習会

農協への理解を深め、農業後継者へ激励を

3月24日、きよさと農業塾9期生の学習会を、村上参事が講師となり、開催致しました。

JAの仕組みや生い立ちを始め、JAの概論と事業目的や意義について、相互扶助の精神、JA綱領についての話がなされた他、清里町農協の基本理念や基本姿勢についても説明され、今後の営農に向けてのメッセージが述べられました。

塾生はじっくりと耳を傾けており、JAの理念や位置付けに対する理解を深めていただけたようでした。最後に、村上参事からは「やらなくて失敗や後悔をするなら、やる勇気も必要。考えるだけで動かなければ意味がない」と激励を込めた言葉が贈られ、学習会は終了しました。

★世代交替報奨慰労会

長年の農業へのご尽力に感謝と御慰労を

4月2日、令和3年度の世代交替報奨慰労会が開催されました。

今年の対象者は8組の方で、内6組12名の皆様にご参加いただき、世代交代された皆様には、長年の苦労を労い、JAからの記念品が石井組合長より贈られました。

慰労会においては、開催と記念品の贈呈に対し、招待者を代表して、伊藤清市氏より御礼の言葉と乾杯の発声をいただきました。

宴は終始和やかな雰囲気で進み、三上専務の閉会の挨拶にて慰労会は終了しました。

経営移譲された8組の皆さんの今後益々のご活躍とご健勝を心よりお祈り致します。

★コンバイン格納庫新築工事起工式

工事の起工に際し、安全を祈る

4月22日、午前9時より神威麦作センター第2駐車場にてコンバイン格納庫新築工事の起工式が執り行われました。

今回新築される格納庫は、大型化するコンバインの収納、サイロ4棟の増設による場所の確保のため既存の格納庫を解体し、新たに建設する必要が生じたことから、神威麦作センター第2駐車場に新築することとなりました。

工事は5月より進められ、11月の完成を予定しています。

起工式では、石井組合長、ホクレン北見支所次長田中法郎氏、野村興業㈱代表取締役社長有山保則氏による鍬入の儀が行われ、工事の無事と清里町農業協同組合の益々の発展を祈願致しました。

＊工事期間中、組合員の皆様にはご迷惑をおかけする事となりますが、ご理解とご協力のほどよろしくお願い致します。

★第1回秋まき小麦青空教室

121戸が出席

4月14日、23日に令和3年度第1回秋まき小麦青空教室が各集団代表ほ場で開催されました。

普及センター職員を講師として招き、春期の秋まき小麦の管理について説明していただきました。

今年の茎数については平年と同程度もしくは上回る数字となったことから、追肥についてはほ場の茎数を把握しながら状況により行うことが呼びかけられ、その他、病害について、防除についての説明もなされ、質疑には、縞萎縮病の発生状況や対応について、防除のタイミングについて等の質問が発言されました。

理事会の経過をお知らせ致します

第4回　4月6日

付議事項

議案第1号　再建組合員の承認について

議案第2号　Fintech企業等との連携及び協働に係る方針の改正について

議案第3号　第73回通常総会の対応について

議案第4号　令和3年度コンプライアンス・プログラムの制定について

協議事項

1. 持続可能な畑作・青果政策の確立に関する組織討議について

報告事項

1. 第6回オホーツク農協畑作青果対策委員会の内容報告について
2. オホーツクPCN対策方針の改訂並びに検討経過等について
3. 令和2年産経営所得安定対策交付金の決定内容について
4. 令和2年度産地生産基盤パワーアップ事業の交付決定について
5. リース取引による固定資産の賃借について

第5回　4月9日

付議事項

議案第1号　代表理事の選任について

議案第2号　組合長、専務理事、第1理事の選任について

議案第3号　非常勤理事の使用人兼務理事の決定について

議案第4号　理事の役割分担について

議案第5号　第73回通常総会の集約について

議案第6号　理事の報酬配分について

議案第7号　職員の要員計画について

議案第8号　理事に対する供給限度額並びに貸越極度額の決定について

議案第9号　固定資産の取得について

議案第10号　リース契約満了による固定資産の取得について

議案第11号　一般競争入札の実施について

議案第12号　清泉地区設立法人㈱Gシードに対する出資について

議案第13号　行政庁に提出する業務報告書について

報告事項

1. Gp緊急防除区域の追加及び一部削除について
2. 令和2年産規格外小麦の本精算について
3. 令和3年度組合員勘定収支計画集計について
4. 令和3年度営農計画作付面積集計について
5. 令和3年度清里町農業振興資金貸付事業（第1回申込）について
6. コンバイン格納庫の建設スケジュールについて

人事異動発令

令和3年4月1日付をもって人事異動の発令がありました。
（　）は異動前の所属部門

○白戸　豪将
参事
（営農部長兼管理部付参事心得）

○太田　智之
管理部長兼企画審査課長
（管理部長兼内部監査室長）

○城村　英樹
営農部長
（営農部農畜産課長）

○梅佐古　一寿
金融部長兼共済課長
（金融部金融課長）

○佐渡　淳一
管理部管理課長
（管理部管理課調査役）

○森　大樹
金融部金融課長
（金融部金融課主幹）

○橋本　光司
営農部農畜産課長
（営農部農畜産課調査役）

○浅野　雅樹
営農部農畜産課調査役
（営農部農畜産課主幹）

○佐々木　猛
営農部農畜産課調査役

（営農部農畜産課主幹）
○**森谷　尚弘**
営農部製造課調査役
（営農部製造課主幹）
○**樽見　裕一**
営農部製造課主幹
（営農部製造課主査）
○**仲野　明子**
金融部金融課主査
（管理部管理課主査）
○**佐々木　昭弘**
業務部燃料自動車課主査
（業務部燃料自動車課）
○**佐藤　裕司**
営農部製造課主査
（営農部製造課）
○**甲斐　喬也**
業務部燃料自動車課主査
（業務部燃料自動車課）
○**吉田　逸人**
管理部企画審査課主査兼管理課
（管理部企画審査課兼管理課）
○**堀田　竜馬**
営農部農畜産課主査
（営農部農畜産課）
○**井上　拓哉**
営農部農畜産課主査
（営農部農畜産課）
○**橋本　直紀**
業務部燃料自動車課
（業務部燃料自動車課主査）
○**岸里　未来**
管理部管理課

（金融部金融課）
○**松舘　正太**
金融部金融課兼共済課
（金融部金融課）
○**伊藤　渓刀**
業務部燃料自動車課【給油所】
（業務部業務課）
○**上野　史遠**
管理部管理課
（金融部金融課）
○**福井　碧斗**
管理部管理課
（業務部燃料自動車課【給油所】）
○**梅田　仁**
業務部燃料自動車課
（業務部燃料自動車課準職員）
○**岩永　みちる**
管理部管理課兼企画審査課
（管理部管理課準職員）
○**城村　千恵子**
金融部金融課準職員
（営農部経営課準職員）
○**森　朗**
内部監査室長
（金融部長兼共済課長）
○**田島　祥子**
営農部経営課
（管理部管理課長）

■令和３年４月１日付で採用がありました。
○**阿部　宏保**
金融部金融課
○**久保田　悠太**
業務部業務課
○**山口　修平**
営農部製造課準職員
○**大藤　春果**
金融部金融課準職員

組合員状況

〈令和３年５月１日現在〉

■**組合員数**　〈前回報告より〉

正組合員	（個人）	218名	（変動なし）
〃	（法人）	14法人	（１団体増）
准組合員	（個人）	1,314名	（７名増）
〃	（法人）	0法人	（変動なし）
〃	（団体）	18団体	（変動なし）
	（合計）	1,564	

★新規採用職員をご紹介します

○名　　前　阿部（あべ）　宏保（ひろやす）
○生年月日　平成10年４月28日
○出 身 地　石狩市
○出 身 校　札幌学院大学
○趣味・特技　スポーツをすること・ドライブ
○配 属 先　金融部金融課
○抱　　負　町で組合員の皆様から気軽に声をかけてもらえるよう、組合員の皆様の顔と名前を一致させ、自分という人間を受け入れてもらえるようにします。よろしくお願い致します。

○名　　前　大藤（おおふじ）　春果（はるか）
○生年月日　平成15年3月31日
○出 身 地　清里町
○出 身 校　清里高等学校
○趣味・特技　音楽鑑賞・マッサージ（特に肩もみ！）
○配 属 先　金融部金融課
○抱　　負　一日でも早く一人前の農協職員になれるように頑張ります。ご指導、よろしくお願い致します。

○名　　前　久保田（くぼた）　悠太（ゆうた）
○生年月日　平成14年3月29日
○出 身 地　北見市
○出 身 校　JAカレッジ
○趣味・特技　体を動かすこと・スキー
○配 属 先　業務部業務課
○抱　　負　社会人1年目として至らない点も多々あると思いますが、失敗を恐れず積極的に何事にも挑戦していき、日々学んでいきたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。

○名　　前　山口（やまぐち）　修平（しゅうへい）
○生年月日　平成4年6月8日
○出 身 地　清里町
○出 身 校　清里高等学校
○趣味・特技　野球（審判・観戦も）・筋トレ
○配 属 先　営農部製造課
○抱　　負　今年3月までパートとして勤務していました。私の出身地でもある清里町で働くことができ嬉しく思います。慣れないことが多いと思いますが、しっかり吸収し活かしていけるよう精進していきたいと思います。よろしくお願い致します。

退職にあたって

定年退職
企画審査課長　**森野　浩幸**

日々春の訪れを感じられる季節となり、組合員皆様におかれましては、蒔きつけ作業などで大変お忙しいこととご推察致します。

さて、私事ではございますが、この度3月末を持ちまして退職させていただきました。昭和57年に中途採用で入組させていただき、39年間と永きに亘り勤務させていただきました。この間、組合員ならびにご家族様、また役職員の皆様には多大なるご指導を賜り、心から感謝申し上げます。

顧みますと、土地改良の技術員として入組以来、農畜産課には二度の23年間、経営課に8年間、業務課に4年間、企画審査課に4年間任務させていただき、中でも思い出に残る事は、当JA独自の客土・暗渠事業の実施や、スイートコーン生産組合で当JA初めての海外視察研修（ニュージーランド）の実施、シカ柵の設置やGISシステム（実測地図システム・トレサビ）の導入、斜里郡3JAでの種子麦生産体制の設立などを担当させていただきました。また最後には、新設した企画審査課を任せていただき、550万人サポーターづくりを初め、食農教育活動やJA特産品の開発に携われた事、各事業を通じて、いろんな方々に出会えた事に、深く感謝致します。

現在は、新型コロナウイルスの世界的感染拡大の収束が見えない中、世界規模での景気後退から、農畜産物の価格低迷や在庫増に伴う経費の増加など、農業・農協経営への影響等が危惧されておりますが、JA清里町は、安全・安心で良質な農畜産物供給の生産基地の一翼を担っている事に誇りを持ち、持続可能な清里町農業の確立に向け、JAが一丸となって邁進されますことを、節に願うところです。

最後になりますが、新型コロナウイルス感染症の一日も早い収束と組合員ならびにご家族皆様、役職員皆様の末永いご健勝とご多幸、JA清里町の益々のご発展をご祈念申し上げ、退職の挨拶とさせていただきます。大変お世話になり、ありがとうございました。

定年退職

製造課専門技術員　**大野澤好見**

陽春の候、組合員の皆様におかれましては春耕期を迎え、何かとお忙しいこととご推察申し上げます。

さて、私事ですが、この度3月31日を持ちましてJA清里町を退職させていただきました。

昭和53年4月に連合会に入会し、平成6年7月からのJA清里町への入組を含め、通算43年間に亘りでん粉製造一筋で奉職させていただきました。この間多くの組合員の皆様を始め、役職員の皆様のご指導、ご厚情を賜り心より厚くお礼申し上げます。

顧みますと、昭和60年代の清里工場は主要機器点数が多く、トラブルが多い状況が散見され非常に苦労が絶えない時期でした。

当時は操業期間が8月下旬から12月上旬までの約100日間に及び、組合員の皆様も貯蔵・出荷に大変ご苦労されたことと思います。

平成6年JA清里町に入組してからは、主要機器類の計画的な更新を国の補助事業と、自己資金により取り進め現在の姿へと変わりました。同時に、馬鈴しょでん粉を取り巻く環境も大きく変化し、近年ISO22000取得など、食品メーカーと同等の対応を求められる時代となりました。

現在の農業を取り巻く情勢ですが、新型コロナウイルス感染の世界的な拡大が続く状況下で、各国は自国最優先の食糧確保の考え方により食糧輸出を規制する動きが出るなど、輸入に依存する危険性が露呈しました。国民にも「食」に対する意識の変化が生まれたのではないでしょうか。

コロナ禍により明らかになった「国産農畜産物の安定供給」の必要性を踏まえ、清里町農業も北海道農業を支える地域であり、フードサプライチェーンの一員として「安全・安心」な清里産農産物をより多くの消費者に届けていただくことを期待しております。

最後になりますが、組合員の皆様、役職員の皆様の末永いご健勝とご多幸、併せて清里町農業協同組合の今後益々のご発展をご祈念申し上げ、定年退職の挨拶とさせていただきます。

長きに亘り、大変お世話になりありがとうございました。

清里町農業後継者育成基金について

後継者育成基金とは、昭和52年に農協役員の方が若い世代へ役立て欲しいと篤志を出していただいたことが発端となり、以降も退職される役職員の方々や離農される組合員等のご厚意により積み立てられた基金となります。

この基金の運用は清里町農業後継者育成基金運用委員会（委員長として専務、第一理事、代表監事、営農部長、青年部・女性部の各部長1名ずつと各副部長2名ずつの計10名で構成）を年1回、基金の使途について協議の場を設けております。使途については、主に青年部・女性部の研修に加え、農業塾に対する研修に使わせていただいている大切な基金となっております。

今回と、これまでに篤志をいただいた方々に感謝を申し上げるとともに、これからも意向に沿った有意義な運用を行って参りたいと考えております。

篤志による寄贈 ありがとう ございました

この度、清里町農業・農協の基盤を広い見識と洞察力でしっかりと支えていただいた事はもとより、農業技術・組合員指導にご尽力を賜りました佐藤均前第一理事、塩澤一也前理事、樫村貢前次席監事、村上静男前参事、大野澤好見氏、山下寛前員外監事、山田美紗子氏（故山田義市氏のご令妹様、北見市在住）より、後継者育成基金運用委員会へ篤志により寄贈がありました。

「農業後継者の育成の為に役立ててください」というお心に添えるよう運用基準の範囲内で時代を担う農業後継者（青年部・女性部・農業塾生）への研修や専門教育等に有効に活用させていただきます。

ＪＡグループ通信

ＪＡ北海道中央会

株式会社コンサドーレとＪＡグループ北海道は、平成 19 年に相互協力協定を締結しておりましたが、協定の締結から 10 年以上経過しており、世の中を取り巻く情勢が大きく変化していること、また北海道コンサドーレ札幌がクラブ創立 25 周年を迎えることから、SDGs を基本方針とし食農教育・社会貢献活動をさらに発展させ活動していくことを目的として、新たに連携協定を締結いたしました。

これまでは、北海道コンサドーレ札幌の選手やサポーターが播種・収穫作業をする「コンサ・土・農園 (コンサ・ド・ファーム)」の開園や、選手やコーチが「みんなのよい食ＪＡ親善大使」に就任し農業や食について勉強も行うサッカー教室など、食育をはじめスポーツ文化の発展や地域づくり、地域発展などの各分野で協力を深めてまいりましたが、今後はこれらの活動をより一層強化してまいります。

令和３年度の北海道コンサドーレ札幌との連携活動は、アグリアクション北海道の取り組みとして位置づけ、実施してまいります。

ＪＡ北海道信連

新型コロナウイルスの影響から、窓口でのサービス提供をご心配されるお客様もいらっしゃるため、ＪＡバンクではインターネットを利用したお取引をおすすめしています。令和３年２月からは、インターネットで「ＪＡネットバンク」の利用申し込みができるようになり、ご登録の翌日よりご利用いただけます。

「ＪＡネットバンク」は、窓口やＡＴＭに行かなくても、スマホやパソコンから、ほぼ24時間、残高の確認やお振込みができるので大変便利です。 また、他にもマイカーローンや教育ローンなどもインターネットからお申込みできますので是非ご利用ください！

ＪＡ共済連北海道

ＪＡ共済では、４月よりスマホのアプリとして『ＪＡ共済アプリ』を展開します。アプリを起点としてお客様が加入している契約内容を確認したり、コロナ禍で非対面のニーズが高まっているなか、ＪＡ窓口に行かなくても住所や電話番号などの変更手続ができたり、「いえ」・「くるま」の共済で事故があった際に事故の報告ができるようになります。

デジタル技術を活用し、お客様の利便性の向上や非対面ニーズに対して今後も引き続き取り組んでまいります。

ホクレン

ホクレンは、新型コロナウイルス感染症の対応で奮闘を続けているＪＡ北海道厚生連の医療従事者ら約5300人に、感謝と慰労の気持ちを伝えようと、北海道産農畜産物を原料にしているパックごはん、牛乳、菓子などの支援物資を贈りました。畠山良一副会長が3月9日、同厚生連を訪れ、対応した中瀬省会長、西川孝範副会長、札幌厚生病院の宮崎淳子看護部長に目録を手渡しました。

ＪＡ北海道厚生連

本会では、組合員ならびに地域住民の皆様への情報発信として、公式Twitterの運用を行っております。

今月は旭川厚生看護専門学校の卒業式の様子をご案内いたしました。医療や看護を取り巻く状況は厳しい局面にありますが、77名の卒業生の未来が輝かしいものであることを願います。今後とも皆様へ有益な情報を発信できるよう努めてまいりますので、下記QRコードより当アカウントのフォロー登録を宜しくお願いいたします。

https://mobile.twitter.com/ja_Hkouseiren

ＪＡグループ北海道の連合会の活動内容を紹介します。各団体の詳しい取り組み内容はＷＥＢサイトをご覧ください。

大地がひとを強くする。
AGRIACTION!
HOKKAIDO

関係機関職員紹介

●ホクレン原料所職員紹介

ホクレン原料所では、播種・育苗時期から圃場での肥培管理等の栽培技術指導を中心に、高収量・高品質のてん菜を栽培する生産者皆様方に指導をさせて頂いております。また、新たな品種・農薬・肥料・技術の試験を実施し、新たな栽培方法の普及を図っております。栽培方法・除草剤・農薬・病害虫等わからない点がございましたら、遠慮なく原料所までご連絡ください。お待ちしております。

★職員紹介（①氏名 ②在籍年数）

（右より）

①**馬場　仁美**　②1年目

①**本田　航司**　所長代理　②2年目

●北海道オホーツク総合振興局 網走農業改良普及センター清里支所（清里町兼小清水町担当）紹介

普及センターでは、畑作三作物を始め、畜産や露地野菜の安定生産を目指し、町やJAなどの関係機関と連携しながら活動を推進しています。さらに、多様な担い手の確保や省力的な生産技術の構築に向けた支援を行なって参りますので、今後ともよろしくお願い致します。

職員紹介　①氏名 ②清里支所在籍年数 ③担当部門

（前列右より）

①**三上　由美枝**　主査（地域支援）　②3年目　③園芸

①**池田　勲**　支所長　②2年目　③畑作

①**楢舘　拓**　地域第一係長　②3年目　③園芸

①**若杉　行盛**　主査（防疫）　②2年目　③畑作

（後列右より）

①**萬歳　清幸**　普及職員　②2年目　③畑作

①**松田　隆希**　普及職員　②2年目　③畑作

①**元木　咲**　普及指導員　②4年目　③畑作

①**藤原　萌衣**　普及職員　②1年目　③畑作

①**米田　正彦**　専門主任　②1年目　③畜産

発行／清里町農業協同組合
北海道斜里郡清里町羽衣町2番地
TEL 0152-25-2211 〒099-4405
編集／組合だより編集委員会
印刷／星印刷工業株式会社

期間中に 年金受取 給与受取 JAネットバンク JAカード JAバンクローン のいずれかを

新たにお取引いただいた方を対象に

JA特産品を抽選で最大2,000名様にプレゼント♪

お申し込みはお近くのJA窓口へ!

JAバンクアプリで当選確率アップ!!

ダウンロードはこちらから

応募受付期間	受付期間	当選者	当選発表
第1期	2021年 4/1(木)~7/30(金)	1,000名	2021年 9月頃予定
第2期	2021年 8/2(月)~12/30(木)	1,000名	2022年 2月頃予定

※当選者の発表は、カタログギフトの発送をもって代えさせていただきます。※同一人の年度内重複当選はありません。※当選後の権利の譲渡、賞品の交換・返金には応じられません。

初めてJAで口座開設した方限定!

口座開設月の翌々月の月末時点までに、JAカードとJAネットバンクをお申込みいただき、WEBからご応募いただいたお客さま限定で

JAカードポイント1,000円相当をプレゼント!

©よりぞう

詳しくはWEBサイトをご覧ください ▶ https://www.jabank.org/brand/specialgift2021/

詳しくは、お近くのJAバンク窓口にお問い合わせください。

JAバンク北海道

JAバンク北海道 検索